

美ら海の防人たち：日本の南西域を守るデジタルの壁



那覇サイバー防護隊 / 海上自衛隊

50年の誇りを胸に、次世代の「サイバー防護」へ進化する

1972年
創設の原点

2002年
システム通信の要衝へ

2026年3月
新たな次元の防衛へ

臨時沖縄航空派遣隊通信班

本土復帰の年、沖縄における航空通信の要として部隊の歴史が幕を開けました。

那覇システム通信分遣隊

IT通信の普及に伴い、部隊間のネットワークを支える専門部隊へと発展。長年に渡り南西域の通信基盤を維持してきました。

那覇サイバー防護隊（新編）

複雑化するサイバー脅威に対抗するため、サイバー防護に特化した部隊へ大規模改変。通信からサイバー空間まで、任務の次元を大きく拡張しました。

陸・海・空をつなぐ「見えない盾」となる

24時間365日の監視体制

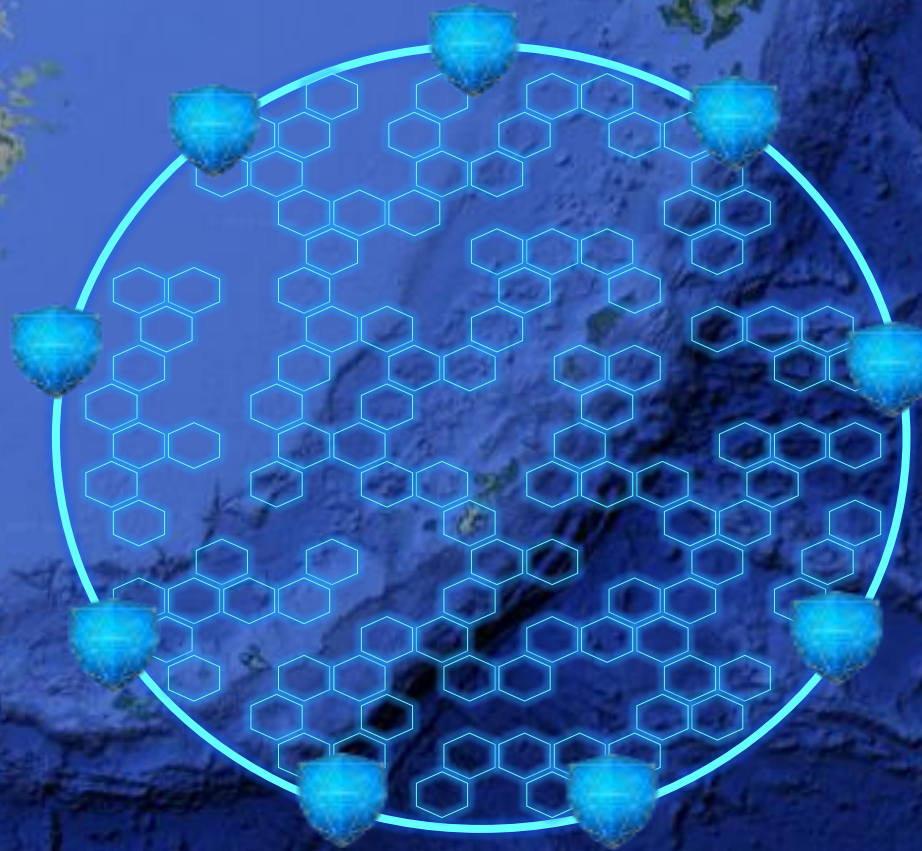
日々変化するサイバー脅威に対し、情報の集約とネットワークの監視を絶え間なく実施。情報漏えいやシステムダウンを未然に防ぎます。

前線基地としての使命

本州から遠隔地で周辺諸国に近い地政学的な最前線でありながら、台風や塩害という厳しい自然環境にも直面。この困難な環境下でサイバー空間を守ることが私達の最大の誇りです。

部隊の「神経」を守る

那覇地区は陸・海・空の自衛隊が集結する極めて重要な拠点。艦艇、航空機、陸上部隊の作戦通信を途切れさせることなく、シームレスな連携を支えます。



南西の空と海を支える、3つの重要任務

サイバー・ネットワーク運用



情報の安全を担保する最前線

那覇・勝連地区のネットワーク基盤を一手に管理。セキュリティ事象への対応、ヘルプデスク業務を通じた部隊サポート、そしてサイバー攻撃の兆候を監視・遮断します。

固定通信施設運用



部隊をつなぐ大動脈の維持

国頭受信所、具志川送信所の巨大なアンテナ群や那覇衛星地球局の管理・運用。洋上の艦艇や潜水艦、上空の航空機との絶対的な通信ルートを確認します。

機動通信



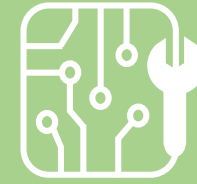
災害・有事における動く通信拠点

2026年の新編で強化された新任務。災害時や通信インフラがない場所へ専用車両で迅速に展開し、衛星通信機材等の最新機材を用いて現場部隊へ臨時の通信回線を提供します。

あなたの適正は？プロフェッショナルへの2つの道



通信員



電子整備員

ミッション

「どんな時でも情報交換ルートを確保する」サイバー・宇宙空間を含む最新IT技術の運用とシステム管理

「途切れた通信を自らの手で復旧させる」無線機やレーダー等、通信インフラの物理的な構築と修理

こんな人におすすめ

新しいITガジェットが好き、PCやネットワークに強くなりたい、最先端のサイバー分野で活躍したい人

機械いじりが好き、工業系出身、自身の手を動かしてモノを直すことに達成感を感じる人

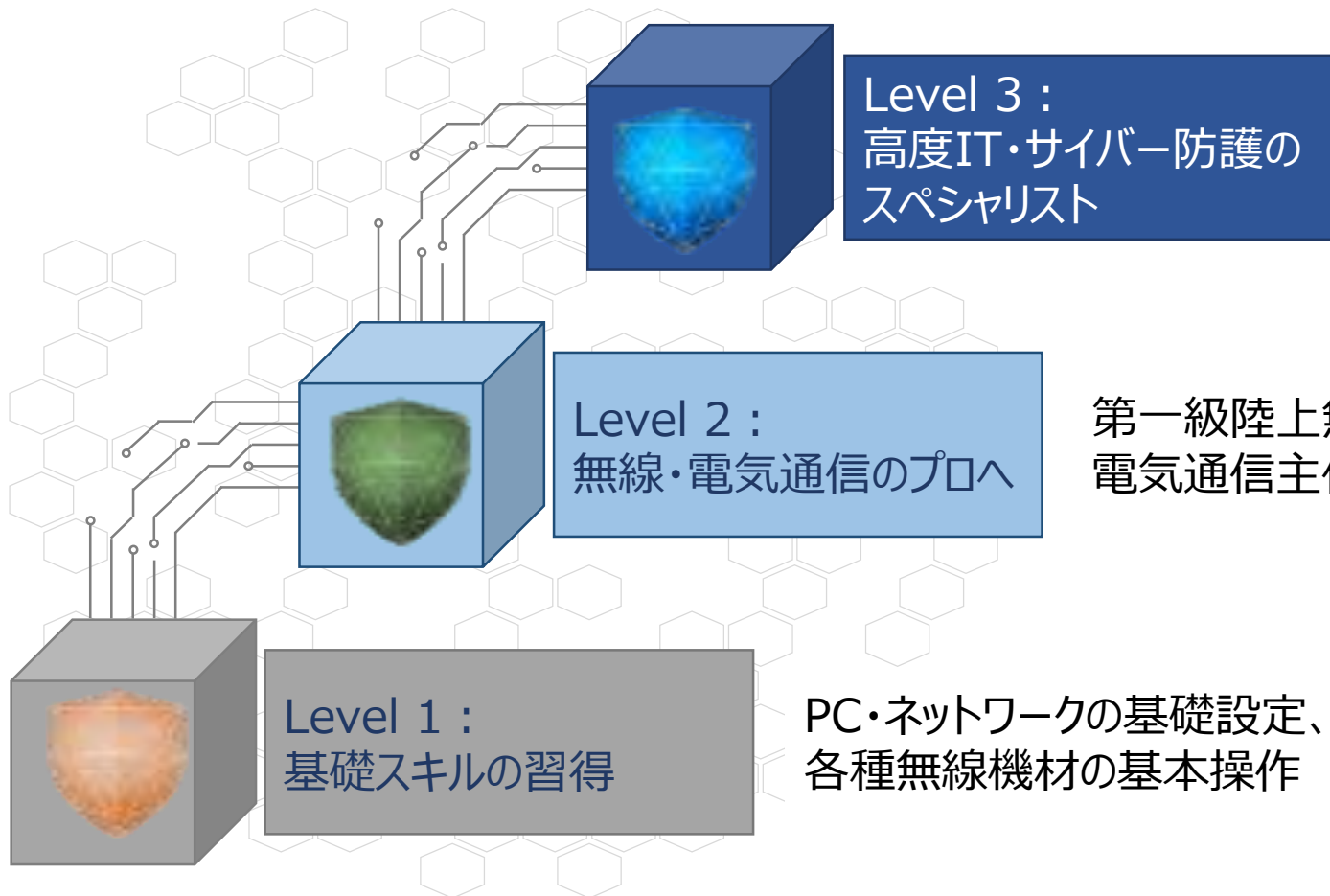
活躍の舞台

陸上のサイバー運用室から、洋上の護衛艦・潜水艦まで、全国規模での活躍の場を選択可能

陸上基地での安定した勤務や、機動展開部隊として車両で災害現場へ急行するダイナミックな任務

一生モノのスキルと国家資格を手に入れる

那覇サイバー防護隊では、隊員の高度なIT・サイバー・無線知識の習得を強力にバックアップします。
自衛隊内の教育だけでなく、民間のオンライン講習等も積極的に活用し、専門性を高める環境が整っています。



情報処理安全確保支援士
ネットワークスペシャリスト
CISSP/CompTIA（国際ベンダー資格）

第一級陸上無線技術士（1陸技）
電気通信主任無線技術者/工事担任者

これらの資格は、あなたの自衛官としての
キャリアアップに直結するだけでなく、社会全体
で求められる極めて価値の高いスキルです。

沖縄本島全域をカバーする広大なネットワーク拠点

具志川送信所

地上波通信の大動脈

約18万㎡の広大な敷地を有し、洋上の艦艇や航空機へ通信を届けます。

The Receiving Station

国頭受信所

沖縄本島最北端の自衛隊施設
「やんばる」の森に位置する受信拠点です。

那覇サイバー防護隊本隊

サイバー防護の中枢

空港に隣接し、陸・海・空の全自衛隊が集結する中枢。日々のサイバー監視と指揮統制を行います。

The Transmitting Station

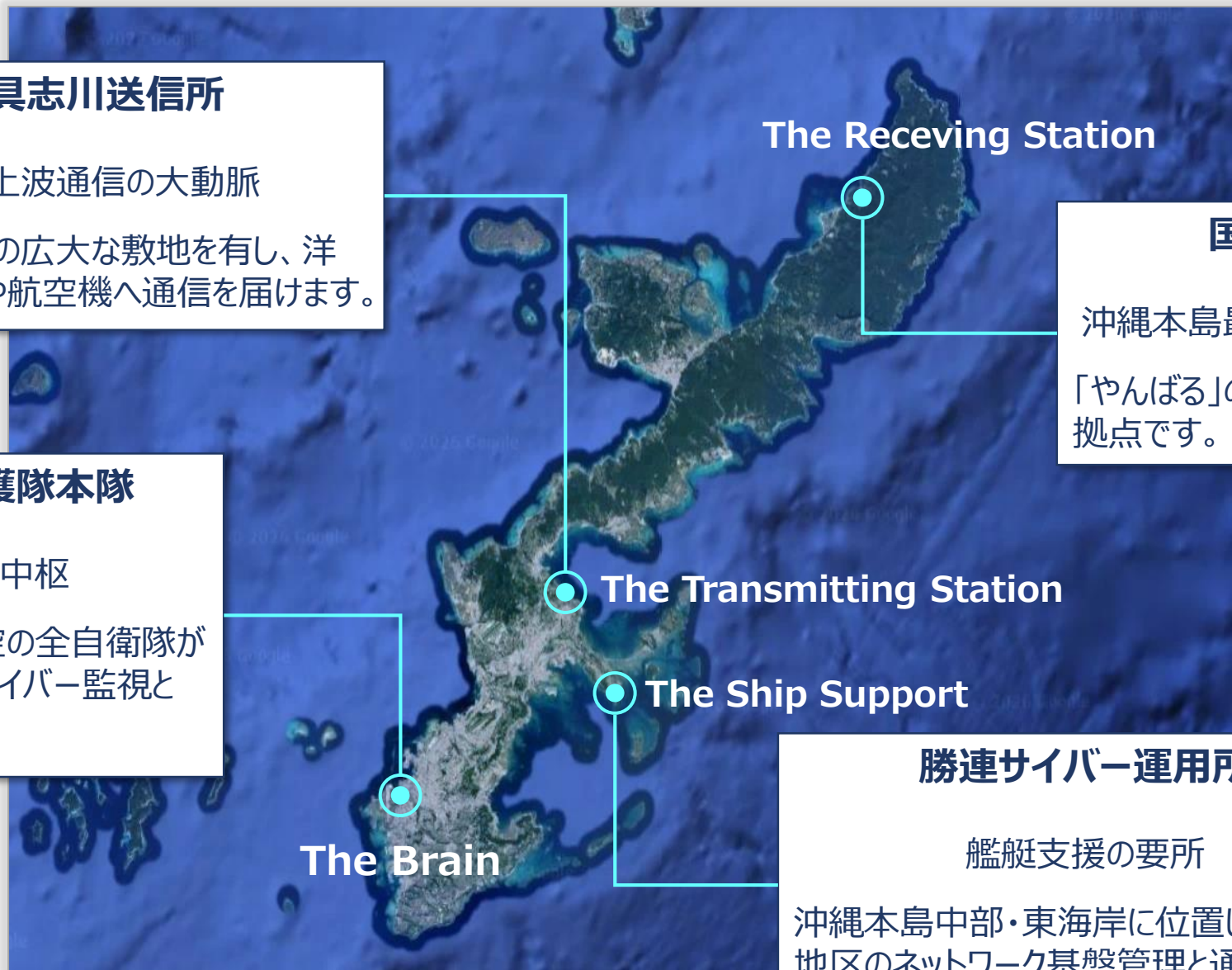
The Ship Support

勝連サイバー運用所

艦艇支援の要所

沖縄本島中部・東海岸に位置し、勝連地区のネットワーク基盤管理と通信運用を担い、艦艇を支援する重要拠点です。

The Brain



南西地域のネットワーク基盤と信頼の絆 ―勝連サイバー運用所―

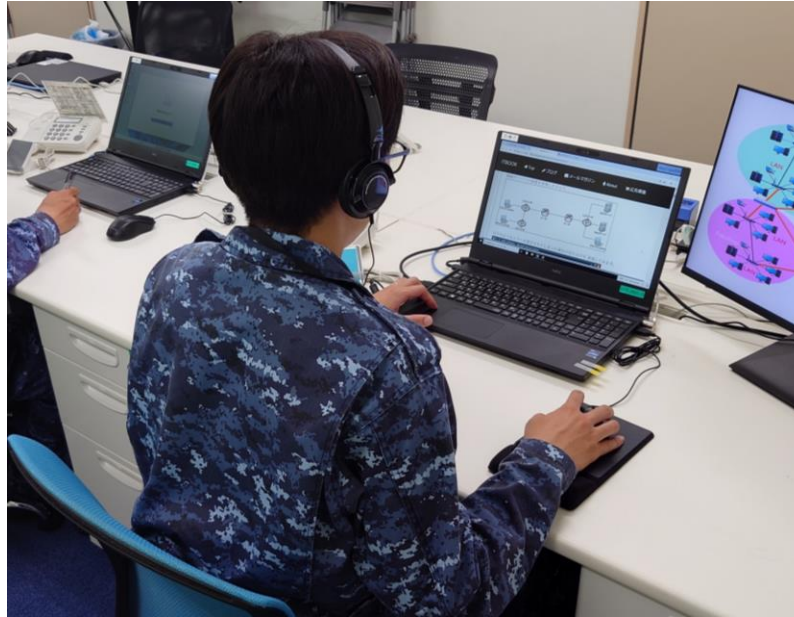
勝連地区の「通信の要」



主な任務と役割：

勝連地区における通信運用及びネットワーク基盤管理を担当し、勝連地区の部隊や出入港する艦艇が円滑に指揮官の意図を共有できるよう、24時間態勢で情報通信インフラを支えています。

【ICTサポートのプロ集団】



技術支援のフロントライン：

情報システムの端末設定から不具合対応、セキュリティ事象への処置まで幅広く担当し、現場の「困った」を解決するヘルプデスク機能を担っています。

【熟練の「知」と次世代の「力」の融合】



熟練のリーダーシップと総合的な連携：

運用所長をはじめ、現場を支え続ける熟練の幹部や准尉、上級海曹が揃い、豊富な経験に基づいた確実な任務遂行を誇ります。那覇の本隊や各拠点と連携し、「1つのチームワーク」として勝連地区のインフラをカバーしています。

「やんばるの森」から美ら海を支える ― 国頭受信所 ―



大自然と知恵

世界遺産「やんばる国立公園」内に位置。希少な動植物に囲まれた特殊な任務環境。不便だからこそ育つ「自ら考え、工夫する力」により広大な敷地の設備を維持管理



【拠点の力】

南西地域における作戦通信の重要な基盤。広大な敷地に巨大なアンテナ群を擁し、艦艇や航空機を支える。最新の受信設備を備え、防衛態勢を強靱化



家族のようなチームワーク

受信所内に留まらず、2年に一度の「豊年祭」など各種地域行事に積極的に参加。地元住民としての文化交流等を通じた地域社会との強い信頼関係が、南西地域の通信拠点を支える基盤

隊員が本音で答える！ 那覇サイバー防護隊Q & A

「沖縄って台風が多いイメージ。台風の時は大変なんじゃない。」

「確かに直撃時は外出制限もあるし、事後の倒木復旧なども大変です。でも、基地の防災態勢はいつも万全なので安心して下さいね！ みんなで乗り切る団結力があります。」

「ヘルプデスクの仕事って、クレーム処理ばかりじゃないの？」

「基本はどんな問い合わせにも『神対応』でサービスしています♪ 同じ自衛隊の仲間からの問い合わせなので、理不尽なクレームはほぼありません。難しい事案は先輩が適切にサポートしてくれますよ。」

「基地周辺の生活環境や住み心地はどうですか？」

「交通の便も良く、大型ショッピングモールや映画館も揃っていて最高です！ 海も綺麗で公園も良く整備されています。」

「国頭受信所の周りには何があるの？」

「実は周りにはコンビニはおろか自販機もありません（笑）。でも、休みの日には街で買い出しをするのも楽しいですし、都内では味わえない大自然を満喫でき、地元の方とのお祭りなどの交流も図れます！」

デスクワークだけじゃない。心身を鍛え、仲間と楽しむ

サイバー防護というデスクワーク中心になりがちな任務だからこそ、当隊は隊員の心身の健康と体力練成を全力でサポートしています。

「体育の日」でリフレッシュ

毎週火曜日の午後は「体力練成日課」として部隊を挙げて運動を推奨し、若手からベテランまで汗を流して親睦を深めています。

スポーツ大会での活躍

士気は非常に旺盛！「全自衛隊陸上協議会」での男子100m走3年連続入賞や、「あやはしトライアスロン」でのリレー入賞など、高い身体能力を発揮しています。

話題のスポーツ「モルック」も！

「モルック沖縄ウインターオープン」などの新しいスポーツ大会にも積極的にチームで参会。階級の垣根を超えたチームワークを養っています。

NAHAマラソンへの挑戦

沖縄県最大級の市民マラソンに多数の隊員が参会。地域の方々と一緒に走り抜け、体力向上と交流を図っています。



「イチャリバチョーデー」の精神で、地域とともに歩む

「一度会えば皆兄弟（イチャリバチョーデー）」。沖縄の温かい精神を胸に、私達は地域社会の一員として地元沖縄の皆様との信頼関係を何よりも大切にしています。



次世代との交流

若手隊員が中心となり、キッズフェスタでエイサー演舞の支援に参会。子供たちとの笑顔溢れる交流を深めました。



感謝を込めた奉仕活動

毎年恒例の「摩文仁の丘清掃ボランティア」。平和への祈りを込めて清掃活動を行っています。



歴史と文化の継承

沖縄の誇りである「首里城復興祭」の運営支援に毎年積極的に参加し、地域の伝統行事を裏方から支えています。

おおらかな「ウチナータイム風土」

独自の琉球文化や食文化が根付く沖縄。本土とは異なる温かくおおらかな気風の中で、隊員たちも地域に溶け込みながら生活しています。



美しい海を、見えない盾で守る仕事がここにある

- ☑ 最先端のサイバー防護・ITスキルと国家資格が身につく環境
- ☑ 陸上基地から洋上まで、自分のライフスタイルに合わせたキャリア選択
- ☑ 大自然と温かい沖縄のコミュニティに囲まれた充実した生活

見えない脅威から日本の南西域を守る
「デジタルの盾」にあなたもなってみませんか？
那覇サイバー防護隊は、共に未来を創る仲間を待っています。



🔍 海上自衛隊で検索！ : 

海上自衛隊採用ホームページへ

任期制自衛官・自衛官候補生 志願受付中

「創造力と団結力をもって任務に邁進してまいります。」

那覇サイバー防護隊のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

海上自衛隊は、我が国の領域及び周辺海域の防衛、海上交通の安全確保、さらには自由で開かれたインド太平洋の実現に向け、国内外で幅広く活動しています。

那覇サイバー防護隊は、令和8年3月23日、海上自衛隊に新編された情報作戦集団隷下のサイバー防護群の部隊として新たな一步を踏み出しました。沖縄本島及び南西諸島における海上自衛隊の通信基盤の維持・運用とサイバー防護を担い、艦艇、航空機、潜水艦及び陸上部隊を支える重要な役割を担っています。

近年、サイバー空間を取り巻く脅威はますます高度化・複雑化しており、その変化に的確に対応するためには、従来の発想にとらわれない「創造性の追求」が不可欠です。当隊では、隊員一人一人が専門的知識と技術の研鑽に努め、自ら考え挑戦し続けることで、情報通信基盤の安定運用と防護能力の向上に努めています。また、那覇、勝連及び国頭など、各地に所在する部隊・施設が一体となって任務を遂行するため、「チームワーク」を何よりも大切にしています。隊員相互の信頼はもとより、各部隊や地域の皆様との連携を深めながら、南西地域の防衛に貢献してまいります。

那覇サイバー防護隊は、未来の安全保障環境においてますます重要となる、サイバー防護の一翼を担う部隊として、創造力と団結力をもって任務に邁進してまいります。

今後とも、当隊の活動に対し、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

那覇サイバー防護隊司令